

火海五十九

卷之三

ナニタラ



大阪市西區南堀江通壹丁目

勝本忠兵衛

お立向宮の便り

安政元年正月上、其は

わのめの旅情より

海道よりまづりを

津あり中ノ御市

北見御内也一ノ里

乃は既下も予度の

ゆきをもて金利

なの山、其れ御内

人哉其代則は

古之云ふ機も勿

停哉夢也則は

古之云々煙草也

の劍あり煙又云

乙女也からんと伊里

達海桶も御包朝の

日の教へお城之のみさ

地ノ桶生えれの御

詔文院事ノ御

山宣も宜ま

ナフウ

酒屋也

五

「酒屋也停哉」